

## 公表

### 第 29 回技能グランプリ「建具」職種競技課題

次の競技時間、注意項及び仕様、支給材料に従って課題図に示す衝立を製作しなさい。

#### 1、競技時間 12 時間

(延長時間はありません)

#### 2、注意事項

- ① 図示されていないものは、慣例に従い製作する。
- ② 割り込み、墨付けはすべて競技場で行う。
- ③ 原寸図の型板は使用禁止とする。
- ④ 安全には十分に配慮する事。競技時は作業服、帽子等を着用するものとし、木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）や電動手持ち工具の使用に当たっては、保護メガネを使用し、競技委員の指示に従い、安全に作業を行う事。
- ⑤ 木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）の使用に関してはホゾ引きのみとし、溝加工は電動小穴カッター（溝切りカッター）又は電動トリマを使い製作する。工具用の刃物、治具などは持参する事。
- ⑥ 組み立ては、ハタ金を使用して組み立てても良い。
- ⑦ 手工具は指定の物以外持参しても良いが、使用に当たっては競技委員が判断する。

#### 3、仕様

- ① 機械作業のホゾ穴は、框周り・兜巾棧・土居とし、ホゾは框・上棧・中棧・下棧・兜巾棧・足と土居の相欠き及び足の下場しゃくりまでとする。額の収まる 19mm・杉板の収まる小穴、また額周りの小穴も機械作業（電動工具可）で行う。
- ② 額の立て柄ホゾ穴、ホゾ、額の製作加工は、手加工とする。
- ③ 上棧 上棧と框の取り合いは箱留め接ぎ、及び框留 横棧留柄とする。  
なお、箱留め接ぎの加工に当たっては電動ドリルの使用も許可する。
- ④ 框 框と横棧の取り合いは、図示に従い、製作する。
- ⑤ 菱組部 框と菱組部は腰型とし表面銀杏面加工、組手部は組手越しとする。  
菱棧は全て長い材料を通して裏で組手を加工する。  
また剣先接合部 4 か所は隠しホゾ組とする。
- ⑥ 上横棧 框と横棧の取り合いは、腰型とし銀杏面及び角面取り加工とする。
- ⑦ 斜め横棧 框と横棧の取り合いは、直角にホゾ加工とし 9mm 角面合わせとする。
- ⑧ 立束 中棧との取合いは、9mm 角面合わせとし、横棧にホゾ射しとする。
- ⑨ 下立束 額と立柄との取合いは、腰型 4mm とし銀杏面両面 3mm 加工を施し内部に杉板 6mm を組み込みとする。
- ⑩ 土台 土居と框の取り合いは、下ホゾの穴を抜き、足との相欠き部分を取る。

- ⑪ 足 足と框の下ホゾの穴を抜き、土台との下穴を掘り柄穴にクサビ締めとし接着剤は使用しない。
- ⑫ 束・棧 束と棧の取り合いは、兜巾面を取り、横通し立ホゾとする。
- ⑬ 額・腰板 額は立柄を取り付けて納め 留は三枚に組みビス止めにする。  
腰板は額内部組み込みとする。
- ⑭ 面 図示されたものはすべてそれに従い製作する。  
平几帳面及び銀杏面は手鉋、手加工とする。
- ⑮ 留型 箱留型は使用しないものとする。
- ⑯ 仕上げ 仕上げは鉋仕上げとしペーパー掛けはしないものとする。
- ⑰ その他 接着剤・釘・ビスは、各自で持参する。  
トリマスタンドは持参しても良い。

#### 4、 支給材料

部材名	長さ	見付	見込	数	材質	備考
框	1130	60.5	40.5	2	米ヒバ	
上棧	900	60.5	40.5	1	〃	
下枳	1040	40.5	60.5	1	〃	
土台	700	90.5	90.5	1	〃	
中棧	900	50.5	40.5	1	〃	
中棧	900	45.5	40.5	1	〃	
斜め中棧	920	40.5	36.5	1	〃	
立束棧	920	40.5	36.5	1	〃	3 本取り
腰額立	370	22.5	19.5	1	〃	2 本取り
腰額横	870	25.5	19.5	2	〃	
腰立束	550	15.5	19.5	1	〃	3 本取り
菱	900	45.5	36.5	4	〃	縦・横含む
腰板	700	180	6.5	1	杉	
ほぞ穴ゲージ	300	36.5	36.5	1	米ヒバ	
クサビ	切り落とし使用					